

第二十三回帝國議會 衆議院 種牡牛檢查法案委員會會議錄(速記)第三回

會議

明治四十年三月六日午前十時三十五分開議

出席委員左ノ如シ

丹後 直平君

福島

宣三君

長

晴登君

安藤 新太郎君

坂元

英俊君

市田

兵七君

出席政府委員左ノ如シ

農商務省農務局長 牧 朴真君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

種牡牛檢查法案

○委員長(丹後直平君) ソレデハ開會致シマス、前會ニ引續イテ御質問ガアルナレバ、

政府委員ニ御尋ナサルヤウニ……

○福島宜三君 政府委員ニ御尋ナシタイノハ、牛ノ改善及繁殖ハ共ニ非常ナ要求ヲ

國家ガシテ居ルと思フ居ル、ソレデ現ニ日露戰爭ノ際ニマゴツイタノハ、此牛デアル、俄

ニ魚杯ノ需要ガ多イト云フ理窟ニナツテ、魚ノ罐詰ヲ農商務省ガ御勸メニナツテ、ソレデ

漸ク御茶ヲ濁シタヤウデアルガ、其時分ノ狼狽サ加減ト云フモノハ、當局者ハ能ク知ツテ

居ラレト思フ、然ルニ國民ノ衛生ハ益々改善ノ途ニ發達セントスル場合、戰爭ガナイ

トテモ、牛ノコトハ現狀デ安心シテ居ラレヌ場合デアル、ソレデ今ハ僅ニ此種牡牛ノ檢

査法案位ノモノデ、此國家ガ要求シテ居ル牛ノ改善擴張及繁殖ヲシ得ルモノトハ、マサ

カニ當局者モ明言シ得ラレマイト思フ、先日和田政府委員ノ仰シヤルヤウニ、何ノ種類

ガ善イ、ト云フ說法ハ伺ヒマシタガ、箱庭デ何カ試驗ヲナサルトハ違フ國家ノ非常ナ要

求ニ當嵌メルダケニ、非常ナ勢ヲ以テ此改善及繁殖ヲ計ラネバナラヌト思フテ居ルガ、

此檢查法案ダケデハ御満足ニナルマイト豫察シ得ラレル、シテ見マスルト種牛牧場ノ如

キハ——農務局杯ハ最モ教ヘテ、最モ力ヲ極メテヤラナレバナラヌト思フテ居ルガ、ソレ

等ニ付イテ政府ハドウ云フ施設ヲナサルベキ御胸算ガアルカ、私共ハ寧ろ其御胸算ヲ伺ッ

テ、ソレガ甚ダ曖昧デアルナラバ、檢查法案トコロデナイ、種牡牛ノ牧場ノ、所謂種牛

牧場ノ設置ヲ政府ニ促スベキ他ノ法案ニ據ラナレバナラヌト思フ、ソレニ付イテ確タル

御方針ノアルトコロヲ伺フテ置キタイ

○政府委員(牧朴真君) 唯今ノ御質問ハ誠ニ御尤モデアリマスガ、政府ハ先ニ種牛

牧場ヲ起スコトニ付キマシテハ、議會ノ協賛ヲ經マシテ、先ヅ七塚原ニ牧場ヲ起シ、昨年

ハ北海道ノ「ツキササ」ニ牧場ヲ起シタコトデゴザイマス、而シテ此度ハ種牡牛ノ檢查ノ

ミニ依ッテ改良ヲ計ルコトガ出來ルカ、又増殖ヲスルコトガ出來ルカト云フ御尋デゴザイマ

ス、實ハ唯此種牡牛ノ檢查ヲ行フノミナラズ、一方デ成ル可ク種牛牧場ヲモ開イテ双

方相俟ッテ此改良發達ヲ計テ往カウト云フ考モアリマス、一方ニハ獎勵ノタメ良牛ヲ

所有シテ居ル者ニハ、相當ノ獎勵金ヲ下附スルト云フ、恰モ馬ニ獎勵金ヲ下附スルガ

如ク、獎勵金デモ下附シテ、サウシテ改良速進ヲ圖ッテ往カウト云フ計畫モナキニシモアラ

ズデアリマス、然ルニ此獎勵ヲ行ヒマスニ於キマシテモ、ヤハリ相當ノ金ヲ要スルコトデゴザ

イマス、是ハ實ハ本年ヨリモ行ヒタイト云フ考デアリマシタガ、詰リ政府ニ於キマシテハ、

財政上ノ都合ニ依ッテ、先ヅ當分ハ見合セテ置カウト云フコトニナリマシタ、從ッテ種牛

牧場ヲ増設スルト云フコトモ、當局ニ於キマシテハ其計畫無キニシモアラヌノデゴザイマス

ケレドモ、是モ亦財政上ノ都合ニ依ッテ見合セルコトニナツテ居リマス、今後ニ至リマシテ

ハ、是等ノ事ハ是非計畫ハ致シマスル積リデアリマス、併ナガラ又一般財政ノ都合ニ依ッ

テ、之ヲ來年ニ此費用ヲ豫算トシテ提出スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ至ッテハ、

豫メ明言スルコトガ出來マセヌガ、兎ニ角獨リ檢查法ニ據ルバカリデナク、他ノ方法ヲ用

井、成ルベク速ニ牛ノ種類ヲ改良シ、而シテ牛ヲ増殖スルト云フコトヲ計畫致シマスル積

テゴザイマス、一應申上ゲテ置キマス

○委員長(丹後直平君) 大抵質問モ盡キマシタヤウデゴザイマスカラ、是ヨリ討議ニ

移リマス逐條ヲ審議スル程ノコトモナカラウト思ヒマスカラ、全案ヲ一括シテ討議ニ附シ

マス

○長晴登君 本案ノ大體ニ付イテハ、其施行ノ方針其他ニ付イテハ、前會以來政府

委員ノ説明ニ依ッテ略々分ッテ居リマスルデ、其方針ヲ枉グズニ規則ヲ施行スルト云フコ

トニ付イテ御注文申シテ置キマスガ、就イテハ全體ニ付イテハ別ニ修正スルコトガアリマセ

ヌガ、唯附則ノ明治四十年四月一日ヨリ施行スルト云フモノ、四月ヲ七月ト修正致シマ

ス、其理由ハ別段アリマセヌガ、モウ今月ハ三月デ、來月一日カラ施行ト云フコトハ到

底不可能ノコト、思ヒマスカラ、詰リ別段ノ理由ハナイケレドモ、準備等ノ時日ヲ必要

トスルト思ヒマスカラ、七月一日ト修正致シタウゴザイマス

○政府委員(牧朴真君) 四月一日ヲ七月一日ト修正シマスルコトニ付キマシテハ、決

シテ政府ニ於テハ異議ハゴザイマセヌ、然ルベク修正ヲ願ヒタイ

○福島宜三君 今ノ長君ノ說ニ贊否ヲ決スル上カラ、御質問ヲシテ置キタイガ、七月

一日ト若シ致シマシテ、十一條ノ免許期間云々ト云フ個條ニ對シテドウ云フコトニナリ

マスガ、其項ニナツテ種牡牛ノ免許期間ニアルモノガアルノデゴザイマセウカ、地方デ大抵

種牡牛ノ檢查ヲ致シマスルノハ、ドコデモ大抵同シヤウニナツテ居リマセヌカ、サウスルト僅

ノ間デモウ一遍シナケレバナラヌト云フコトガ、府縣ニ依ッテハアリマセヌカ、ソレヲ伺ッテ置

キタイ

○政府委員(牧朴真君) 今日マデ各府縣デ行ッテ居リマスルモノハ、免許期間ガ多ク

ハ一年デゴザイマシテ、而シテ二年ノ分モ二三縣アリマス、又無期ノモノモ二三縣アリマ

スガ、是ハ初メノ起リガ、必ズシモ悉ク四月一日ト云フコトデハナイノデアリマスカラ、七月

ニナリマシテモ、或ル縣ハ丁度宜イ所モゴザイマシヤウシ、或ハ縣ハマダ二四ヶ月殘リマスル

ヤウナ縣モ出マセウガ、實際ニ於キマシテハ、二ヶ月延シマシテ差支ナク運ビマス考ヘマ

ス

○長晴登君 唯今承ッテ見ルト、無期若クハ二年トカ、月ノ關係等ニ於テ、種々ナル

地方毎ニ事情ヲ異ニシテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、是等ハ此法律ノ結果トシテ、前
回統一ヲ付ケルト云フ御話ノ下ニ、全國劃一ニ時期ヲ極メテ往カケレバナラヌト思ヒ
マスガ、ソレニ付イテ違タモノニ付イテハ、一ノ法律ヲ行フニハ一通リ整理時代ガナレバ
ナリマセヌカラ、此整理ノ方法ヲ施行細則ノ附則ニ於テ極メテ整理スレバ宜イノデアル、
ソレカラ又一遍本年検査ヲスルモノヲ、又再ビ検査スルト云フコトハ、左程必要ハ感ゼヌ
ノデアリマス、ソレ等ニ對シテハ施行細則ノ附則ニ於テ極メテ、少シモ差支ナカラウト思ヒ
マス、政府ニ於テモ、サウ云フ方針ヲ以テヤツタラ宜カラウト思フデ居リマス、之ニ付イテハ
尙同意ヲ得デ置キタイ

○政府委員(牧朴眞君) 實際此法律ガ出マスルト、施行細則ヲ行ヒマスルノデアリマ
スカラ、其時ニ御説ノ通り一般ノ整理ヲ致シマスル積デアリマス

○福島宜三君 私ハ本案ノ大體ヲ賛成致シテ居リマスガ、就キマシテハ希望ヲ述ベテ
此案ヲ賛成スル條件ニシテ置キタイ、即チ種牛牧場ノ計畫ヲ立テ、成ルベク——成ルベ
クと言ヒタクハナイガ、頻リニ政府ガイロ／＼仰シヤルカラ、成ルベク云フ意ヲ附ケテ、
來年度ノ豫算ニハ種牛牧場ノ經費ヲ御請求ニナル位ナ御勢ヲ以テ、是非御經營ヲシ
テ戴キタイ、何カト云フト政府委員ハ、財政ノ都合財政ノ都合ト云フコトヲ一言目ニハ
仰シヤルヤウデアルガ、是ハ國民ヲ侮蔑シタ話デアアル、國民ハ國民利福ニ利益アル問題
ニ對シマシテ、未タ曾テ一厘モ國費ノ支出ヲ惜シタコトハナイノデアアル、政府カラ御提
出ニナル案ハ何デモ財政ノ都合ガ好イノデアアデ、議員カラ希望スル案ハイツデモ財政ノ
都合云々ト云フコトヲ仰シヤル、是ハ惡ルイ風デアアル、國民ヲ侮蔑スル話デアアル、況ヤ
此種牛牧場ノ如キハ三千万ノ農家が要求シテ居ル聲デアアル、種馬牧場モ必要ニハ違ヒ
ナイ、吾々決シテ不必要トハ言ハヌ、併ナガラドウカト云ハバ此種馬牧場ノ起ツタ發動ノ
元ハ、陸軍ノ請求ニ御應ジニタツト云フコトガ主デアツタト思ヒマス、陸軍大臣ノ要求
ノ聲ト三千万農民ノ聲トハ、輕重ノ御區別ハ置カナケレバ困ル、ドウモ斯ウ云フモノニ
關係ヲ有ツタ問題ニハ、得テ其嫌ガアル、政府ノ勢力アル大臣等ノ請求ニハ、財政ノ都
合ニ云々ト云フ如キハ少クテ、國民ノ要求ニ對シテハ政府財政ノ都合云々ト云フ嫌ガア
ル、國民ハ己ノ要求スル事柄ニ對シテ古往今來曾テ國費ノ支出ヲ拒シタコトハナイ、況
ヤ我國ノ農工商業ノ發達上殊ニ農業ノ改良發達ノ上ニ於テ、家畜ト云フモノ、擴張
ヲ御圖リナラズシテ、日本ノ農業ノ發達ハ最早希望シ得ベカラザル程度ニアルト思ウテ
居ルヤウデアアル、日本ノ農業ニ大關係アル牛ノ改善擴張ニ財政ノ都合モ何モノイコトデ
アルト思ヒマス、テ願クハ政府以外ニ國民アルコトヲ御承知ニナツテ國民ノ要求
ノ聲ト言フモノヲ、御耳ニ留メテ置イテ戴キタイ、三千万ノ農民ノ利害ハ即チ國家ノ富
強ニ大關係アル問題デアアル、農業ノ改良トカ改善トカ仰シヤルガ、耕地整理位ニ比較
ノ出來ナイ家畜ノ改善擴張ト云フモノハ、大關係ノアルコトデアアル、ソレニ財政ノ都合
云々ト云フ言葉ニ借テ、一本ノ通道ヲ作ツテ置クト云フコトハ、國民ヲ代表シテ居ルト
コロノ吾々ハ甚タ不服デアアル、故ニ吾々ハ此種牛牧場法案ニ賛成ノ條件トシテ、種牛牧
場ハ必ズ設計ヲ立テ、必ズ議會ニ要求セラルルト云フ希望ヲ到達シ得ルヤウニ、今日大臣
次官ガ御出デニナツテ居リマセヌカラ、政府委員カラ吾々委員ノ希望ヲ十分御申述ベニ
ナツテ、吾々委員ノ希望ハ即チ國民ノ希望デアルト云フコトヲ仰シヤツテ戴キヤウニ希望

致シマス

○坂元英俊君 少シ後レマシタケレドモ、政府委員ニ質問致シマス、此検査ノ標準デ
アリマスガ、先日來ル御説明ニ依リマス、將來牛ハ乳用トカ、或ハ耕作用トカ云フ其
用途ヲ定メテ繁殖サセルノデアアル、斯ウ云フ話モ同シヤウデスガ、併ナガラ早速此法ヲ
御施行ニナルト云フコトニナリマシタナラバ、其検査ノ方針ト云フモノハ、即チ唯今ノ牛
ニ對シテ検査ヲ爲サル場合ニハ、其方針テ免許證ヲモ下付ナル御積リデアリマセウカ、
即チ此牛ハ乳用牛デアアルカラ乳用牛ノ合格證ヲ與ヘルトカ、此牛ハ耕牛デアアルカラ、耕
牛用ノ種牛トシテ證明ヲ與ヘルト云フヤウナ譯ニ、其用途ニ從ツテ検査ヲサレル御見込デ
アリマスガ、又ハ一般ニ其體尺又ハ血統其他骨格ナドノ適當シタモノハ用途ヲ區別シナ
イデ、唯漫々検査ヲ御通シナル見込デアリマセウカ、其邊ノコトヲ伺ヒタイ

○政府委員(牧朴眞君) 無論其用途々々ニ依ツテ牛ノ種類ハ違ヒマスニハ相違ゴザイ
マセヌガ、免許証ヲ與ヘマスニハ、今日マデノ考デハ是ハ乳用デアアル、或ハ是ハ耕牛所謂
農牛デアアルト云フヤウナ免狀ニハ、區別ヲシマセヌ積デアリマス、ソレハ唯ドウ云フ種類ト
云フ種類ハ舉ゲマスル積デ、是ハ何種類ノ種牛デアアルト云フコト、或ハ洋種ナラバ洋種ノ
何種類、雜種ナラバ雜種ノ何種類、或ハ今日マデ日本ニアリマスル牛デアアルト其何ト云
フ種類、斯ウ云フ二種類ハ免狀ニ書キマス、書キマスレバ自然此種類ハ乳用デアアルトカ、
或ハ耕作用デアアルトカ云フコトガ分リマスノデアリマス、而シテ年齡體尺毛色等ノ如キ
ハ免狀ニ書キマスル積デアリマス、サウスルト隨ツテ是ハ乳用デアアル、耕牛デアアルト云フコ
トガ明ニ分リマス積デアリマス

○坂元英俊君 チョット意見ヲ述ベマス、先刻福島君カラノ御説モゴザイマシタガ、本
員ハ至極御同感デゴザイマス、本員モ種牛牧場ハ是非設置シテ貰ヒタイと思フ、是ハ即
チ國民ノ聲デアアルカラ出來ルダケ急ギマシテ、出來ルダケ餘計ニ日本ノ種牛ハ、此牧場カ
ラ出マス様ナ方針デ、成ルベク餘計ニ此種牛ヲ出シテ貰ヒタイト云フ考デアリマス、何故
ナレバドウモ今日日本ノ牛ハ複雜シテ居ル、非常ニ種類ガ複雜シテ居リマスカラ、國民ニ
於テ大變此種類ノ繁殖ニ迷ツテ居ル、現今日ノ乳屋ノ乳用ヲ觀察シテ見マスルト、純
粹ノ乳用牛ハ居ラヌノデアリマス、稀デアリマス、ソレデ營業者ニ於テモ非常ニ困ラデ居ル、
先日政府委員ノ仰シヤル通ニ、乳用トシテハ成程「アシヤ」ト云フ牛ハ良イデアリマセウ
ガ、全國ノ乳屋ノ牛ヲ見マスルト、サウ云フ乳用ニ適シタ牛ハ殆ド稀デアリマシテ、皆雜
種若クハ下等ノ牛バカリデ、ソレガタメニ良イ乳ヲ餘計ニ國民ニ供給スルコトハ實ハ困難
デアアル、乳ノ惡イタメニ非常ニ衛生上ニモ關係シテ居リマセウカ、又營業者ノ利益上カ
ラモ非常ニ迷惑シテ居ル、又國民ノ方カラ——一般ノ方カラ考ヘテ見ルト、此使用ス
ル上ニ乳用ナリ、或ハ晚用ナリ、其種類ガ錯雜シテ居リマスタメニ非常ニ迷惑シテ居
リマスガ、ソレハ一ハ國民モ分ラヌノデアアル、ドノ種類ガ乳用ニ適スルカ晚用ニ適スルカト、
斯ウ云フコトモ能ク分テ居ナイ、ソレデ唯博勞ナドノ言ヒ任セテ買ツテ見ルト云フト、是
ハ乳用ノ牛デアデ、耕作ニハ適セヌト云フヤウナコトバカリアデ、誠ニ使用ニ困ラデ居ル
カラ、其効用ヲ舉ゲルコトハ出來ナイ、ソコデ今日政府ノ方カラ此牛ノ繁殖ヲ獎勵セ
ラル、コトニナツテハ、其用途ヲ明ニシテ國民ヲ獎勵シテ貰ヒタイ、國民ニ牛ノ繁殖ヲ獎
勵スルナラバ乳用トシテ此種類ヲ繁殖セヨ、農用トシテハ此種類ヲ繁殖シテ遣ルガ宜シ

イト、斯ウ云フコトヲ詳ニ國民ニ示シテ貰ヘバ、即チ牛ヲ持ツテ居ル人ハ乳用ヲ繁殖シタ
イカラト云フノデ、乳用ノ牛ニ金ヲ掛ケル、又自分ガ農用ノ牛ガ欲シイト云ヘバ、即チ農
用ニ金ヲ掛ケルヤウニシテ、乳用ト農用ト云フモノ、種類ヲ明ニシテ、是カラ政府モ獎勵
シ、民間ノ方デモ繁殖スルヤウニシタナラバ、大ニ日本ノ牛ガ改良セラル、コトデアラウト
考ヘマス、ドウモ政府ガ其種牛ニ——即今民間ノ種牛ニ獎勵金ヲ遣ルトカシテ、或ハ繁
殖ヲ進ムルト云フニシテモ完全ニハ往クマイト思フカラ、即チ政府ハ種牛牧場見タヤウナ
モノヲ拵ヘテ其種牛牧場ニ依ツテソレ耕牛用ト云フモノヲ繁殖シテ、ソレデ用途ニ從ッ
テ民間ノ當業者ニ配布スルヤウニシタナレバ、其目的ヲ達セラル、コトニナラウト思フ、サウ
云フコトガ必要デアルカラシテ、此民間ニ於キマシテモ今日非常ニ種牛牧場ノ必要ヲ
感ジテ居ル、即チ今日産馬事業ニ於キマシテモ、政府ハ大體ノ産馬ノ方針ヲ定メ、民
間ニ獎勵シテ居リマスヤウデアリマスガ、其獎勵ノ方針ガ餘程民間ノ意思ト今日ハ投合
シテ、民間モ餘程産馬事業ニ心ヲ向ケテ來マシタヤウデアリマスカラ、改良ノ事業ガ漸々
舉ツテ往クヤウデス、牛モ即チ其方針デ政府ガシカリト遣ツテ貰ハナケレバ、到底日本ノ
牛ノ改良ヲ圖ルコトハムツカシイト思フ、又今ノヤウニ検査位ニ之ヲ放任シテ置キマシタ
トコロデハ、到底日本ノ牛ノ需要ヲ充スコトハムツカシイ、先刻福島君ガ御述ニナツタ通
ドウカ政府ハ一日モ速ク種牛牧場ノ計畫ヲ立テラレテ、來年度ノ豫算位ニハ必ズ御出
シナルヤウニ偏ニ希望致シテ置キマス、其希望ヲ以チマシテ私ハ此法案ニ贊成致シテ置
キマス

○委員長(丹後直平君) 大抵御意見ガ盡キタヤウデアリマスカラ採決致シマス、長君
ヨリハ此施行後期限ノ四月一日トアルモノヲ、七月一日ヨリト云フニ修正説デアリマス、
又福島君ヨリハ種牛牧場ノ設置經營ヲ次年度ノ豫算ニハ必ズ提出セラル、ヤウニ、ソレ
ヲ條件トシテ本案ヲ可決シタイ、ソレニ坂本君ノ贊成説モアリマスガ、先ニ福島君ノ御意
見ノ種牛牧場ヲ來年度ノ豫算ニ必ズ計上セラル、コトヲ條件トスルト云フコトノ方カラ、
採決ヲ致シマス

○長崎登君 福島君ノ御話ハ希望ニシテ、即チ本案ノ可決ノ上ニ取ツテ條件付トナッ
テ來ルト、貴族院ニソレヲ附帶シテ送付シナケレバナラヌカラ、チヨット形式ノ上ニトツテ妙
ナモノガ出來ルト思フ、又福島君ノ御意見ハ之ヲ贊成シタ理由ハ、是ダケハ是非シテ吳
ナケレバナラヌト云フトコロノ強イ御意見デアツテ、之ヲ條件トシテ附帶サシテ置クヤウナコ
トデハナイカト思ツテ、贊成シテ居リマシタガ……

○委員長(丹後直平君) ソレナレバ尙宣告仕直シマス、福島君ノ御希望ニ御異議アリ
マセヌカ(大賛成)ト呼フ者アリ)ソレナレバ其事ニ致シマス、ソレカラ長君ノ修正説ノ
四月一日ヲ修正シテ、七月一日トスルコトニ御異議アリマセヌカ(異議ナシ)ト呼フ者
アリ)ソレデハ四月一日ヲ七月一日ト修正スルコトニ可決致シマシタ、他ニ御異議アリマ
セヌカラ、是デ會ヲ閉デマス

午前十一時十分散會

明治四十年三月六日印刷

明治四十年三月七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局